

令和6年度 事業報告 (公益社団法人日本近代五種協会)

令和7年6月7日

令和6年度、本協会としてできる限りの諸事業を次のように実施した。本協会の社会的役割を深く認識し、競技の振興と普及を目指し国内外の情報を分析して競技の発展に努めると共に、上部団体、加盟団体、並びに関係機関や団体との連携を強化し、諸事業を行い合宿、大会等を実施することができた。なお本年パリオリンピックにおいて佐藤大宗選手が銀メダルを獲得し、協会発足以来の念願であった成果を得ることができた。

1. 我が国の近代五種競技に係る競技力の向上に関すること

① 国際大会派遣

(1) 日本スポーツ振興センター競技力向上事業助成

ア 2024パリ大会に選手団を派遣した。

2024年8月1日～13日：選手2名、スタッフ5名

佐藤大宗選手 銀メダル

イ ワールドカップシリーズに選手団を派遣した。

(ア) ワールドカップ第2戦トルコ大会 (アンカラ市)

2024年4月14日～4月21日：選手8名、スタッフ5名

(イ) ワールドカップ第3戦ハンガリー大会 (ブダペスト市)

2024年4月22日～4月28日：選手8名、スタッフ5名

(ウ) ワールドカップ第4戦ブルガリア大会 (ソフィア市)

2024年5月7日～5月15日：選手8名、スタッフ5名

(エ) ワールドカップ第1戦エジプト大会 (カイロ市)

2025年2月20日～3月3日：選手8名、スタッフ5名

ウ アジア選手権大会 (大韓民国 (華城市)) に選手団を派遣した。

2024年4月9日～4月16日：選手10名、スタッフ5名

エ シニア世界選手権大会 (中国 (鄭州市)) に選手団を派遣した。

2024年6月8日～6月17日：選手8名、スタッフ5名

オ ジュニア世界選手権大会 (エジプト・アラブ共和国 (アレクサンドリア市)) に選手団を派遣した

2024年6月21日～7月2日：選手4名、スタッフ3名

カ U17世界選手権大会 (ポルトガル共和国 (カダグスラニャ市)) に選手団を派遣した。

2024年9月8日から9月17日：選手4名、スタッフ3名

キ U19世界選手権大会 (リトアニア共和国 (トルスキナイ市)) に選手団を派遣した。

2024年9月21日～10月1日：選手4名、スタッフ3名

ク U15世界選手権大会 (グアテマラ共和国 (グアテマラシティ市)) に選手団を派遣した。

2024年12月2日～12月11日：選手6名、スタッフ3名

ケ ビアスレ・トライアスレ世界選手権大会に選手団を派遣した。

2024年 UIPM ビアスレ・トライアスレ世界選手権大会 (エジプト・アラブ共和国 (ポートサイド市))

2024年10月7日～10月16日：選手12名・スタッフ8名

② 国内強化合宿

(1) JOC 選手強化事業および次世代アスリート育成強化事業

ア ジュニア・ユース国内合宿①

2024年5月13日～5月15日 (自衛隊)：選手3名、スタッフ3名

イ ジュニア・ユース国内合宿②

2024年8月19日～8月25日 (リソルの森)：選手8名、スタッフ4名

ウ ジュニア・ユース国内合宿③

- 2025年2月2日～2月8日（鹿児島県）：選手7名、スタッフ3名
 エ シニアナショナルチーム国内強化合宿①
 2025年1月22日～1月29日（自衛隊）：選手8名、スタッフ3名
 オ シニアナショナルチーム国内強化合宿②
 2025年2月2日～8日（鹿児島県）：選手8名、スタッフ3名
 カ 3種競技の次世代選手合宿を年3回実施した。

(2) JRA 助成事業

- ア 3種競技の JRA 次世代選手合宿を年2回実施した。

③ 日韓交流事業

- (1) 韓 国：2024年8月9日～8月14日 選手10名、スタッフ3名
 (2) 日 本：2024年12月9日～12月14日 選手10名、スタッフ3名

2. 近代五種競技の普及に関すること。

- (1) 各所において「射撃、フェンシング、馬術」の体験教室を実施した。
 (2) 協会ホームページの充実をはかり、広く会員を募集するとともに企業と連携した普及活動を実施した。
 (3) 2025年1月1日に改正された UIPM 新ルール of 翻訳を実施し、協会ホームページに掲載した。

3. 近代五種競技に係る競技大会に関すること。

□JSC スポーツ振興基金助成事業

- (1) 第64回全日本選手権大会（令和6年11月1日～3日）を愛知県安城市において開催した。
 (2) 第12回近代3種日本選手権大会兼第19回 JOC ジュニアオリンピックカップ（令和6年11月23・24日）を開催した。

□JSC スポーツくじ助成事業

- (3) 令和6年レーザーラン大会 in 立川は、諸事情により開催を中止した。

4. 公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本スポーツ協会への加盟に関すること。

- (1) 評議員会、総会に出席した。
 (2) スポーツ指導者育成に関する会議に出席した。
 (3) 情報システムに関する会議に出席した。
 (4) 競技力強化に関する連絡会議等に出席した。
 (5) その他運営に関する協力を全面的に行った。

5. 近代五種競技に係る国際的な団体への加盟に関すること。

- (1) アジア近代五種連合（AMPC）に関するコンGRES会議に出席した。
 (2) 国際近代五種連合（UIPM）に関するコンGRES会議に出席した。
 (3) 2024パリ大会に、国際技術役員1名を派遣した。

6. 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するための必要な事業に関すること。

- (1) アンチ・ドーピング活動として合宿及びオンラインで指導講習会、全日本選手権大会のドーピング検査を実施した。（JSC スポーツくじ助成事業）
 (2) UIPM ルール改正における審判員の技能維持に必要な事業を推進した。

- (3) 国際大会運営に関する知識等を習得するため、アジア選手権大会(韓国)2名、2025UIPM ワールドカップエジプト大会2名、それぞれ派遣し知識技能の習得と情報収集活動を推進した。
- (4) 財政基盤確立の為、協賛企業と契約をした。